

## 執筆者紹介

前田 弘毅（まえだ・ひろたけ）北海道大学スラブ研究センター講師

主著：『コーカサスを知るための60章』（共編著）明石書店、2006年；“On the Ethno-Social Background of Four Gholām Families from Georgia in Safavid Iran,” *Studia Iranica* 32 (2003)；「グルジア・ナショナリズムの源流：17世紀叙事詩『ティムラズとルスタヴェリの対話』の意味すること」帯谷知可・林忠行編『スラブ・ユーラシア世界における国家とエスニシティ II』国立民族学博物館、2003年；「シャー・アッバース一世の対カフカス政策—「異人」登用の実像」『史学雑誌』第113編第9号、2004年。

藤森 信吉（ふじもり・しんきち）北海道大学スラブ研究センターCOE 共同研究員

主著：「ウクライナとNATOの東方拡大」『スラヴ研究』47号、2000年；「ウクライナの天然ガス市場」『比較経済体制学会年報』第39巻、2002年；「ウクライナ議会と中間勢力—大統領との関連から」『ロシア・東欧研究』31号、2003年；「2004年ウクライナ大統領選挙—政権交代がもたらすもの」『ロシア東欧貿易調査月報』4月号、2005年；“Ukrainian Gas Traders, Domestic Clans and Russian Factors,” in Matsuzato Kimitaka, ed., *Emerging Meso-Areas in the Former Socialist Countries* (Slavic Research Center, 2005).

宇山 智彦（うやま・ともひこ）北海道大学スラブ研究センター助教授

主著：『中央アジアの歴史と現在』東洋書店、2000年；『中央アジアを知るための60章』（編著）明石書店、2003年；『現代中央アジア論—変貌する政治・経済の深層』（共編著）日本評論社、2004年；『中央ユーラシアを知る事典』（共編著）平凡社、2005年；“Japanese Policy in Relation to Kazakhstan: Is There a ‘Strategy?’” in Robert Legvold, ed., *Thinking Strategically* (MIT Press, 2003)；『『個別主義の帝国』ロシアの中央アジア政策—正教化と兵役の問題を中心に』『スラヴ研究』53号、2006年。